

○事業所名	こども発達支援事業所 イノセント			
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月14日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども達の思いを聞き、主体性を持って過ごす時間を持つことができるように、活動や行事の起案、目標の設定を行っています。	こども達ひとり一人が意見が出せるように寄り添い安心できる環境設定や、こども達の特性に応じて視覚的にイラストや文字等でわかりやすく提示等しています。こども達全員が主体となり活躍できる活動ができるような計画・立案を一緒に行っています。	こども達ひとり一人の特性に合わせながら、みんなが役割を持ち主体的に、そして楽しく活動に参加して社会生活の力につながる様に、今後も環境づくりや活動内容を工夫をした取り組みが出来る様にしていきます。
2	季節に合わせたクッキングやイベント、外出行事を計画して楽しみながら生活力の育ちが出来る様にしています。土曜日や長期休暇には、公園などへの外出を取り入れ、地域の自然や社会に触れる経験を通して、社会性の広がりを支援しています。	クッキングやイベント行事では友達と一緒に参加する楽しさや、自己表現のスキル、コミュニケーション能力を育てる機会にしており、公園遊びや公共施設の利用では、こども達が工夫して遊ぶことや公共のルールを学べる機会にしています。	今後もイベントや活動の中で、楽しみながら様々な社会スキルや生活スキル等の育ちの支援ができる様にします。また社会性や自立心だけでなく、達成感が味わえることや自己肯定感を育みたいと思います。
3	日々の支援の内容を記録し、職員間で共通理解を図っています。また、振り返りを行う事で支援の内容や手立て、特性に応じた支援の工夫等の話し合いを行い適切な支援となる様に取り組みをしています。	こどもたちの様子や内面の変化、その日の出来事など記録を残し、活動や支援の内容に反映できるよう事前に確認を行っています。	子ども一人ひとりのより良い成長に繋がる様に、過去の記録や事例を活かしながら、より良い記録と適切な支援へとなる様に工夫していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容や行事予定、マニュアル関係や災害時対応の周知や各種訓練や研修の実施について周知不足があることが考えられます。	各種情報の周知については、契約時や面談時、お便りや連絡帳、SNSなどで発信・周知を行っていますが、周知不足・情報発信が不十分であったことが要因と考えています。	・アンケート結果を踏まえ、契約時や面談時、お便りや連絡帳を通じて丁寧な説明に努め周知の強化に努めたいと思います。 ・行事や療育活動、各種訓練を実施した際には、Instagramを通じて、これまで以上に積極的に情報発信を行います。日々の活動の様子を見て頂く事で、こども達の成長をより身近に感じて頂けるように努めます。
2	家族支援プログラムや、ご家族を対象とした研修の機会が少ないことに課題があると考えられます。	保護者参加の研修や交流の機会が少なく、就学や進路についての保護者同士の情報交換が十分できていないと感じています。	保護者の思いに寄り添いながら、要望や困りごとを丁寧に伺い、家庭での関わりがより良いものとなるよう、共に考え支援につなげていきます。
3	スポーツ教室などには参加しているが、地域のこども達と交流する機会が少ないことに課題があると考えられます。	スポーツ教室や地域資源を有効に活用していますが、地域のこども達と交流は少ないと感じています。	地域のイベントや図書館で開催される催し、スポーツイベントに積極的に参加し、地域の子ども達との交流できる機械を増やせるように努めます。